



新理事長インタビュー

学生が誇りを持てる 大学づくりを目指して…

北翔大学 理事長 鎌田 昌市

聞き手 北翔大学 同窓会



鎌田昌市（かまだ しょういち）氏
昭和16年3月8日生まれ 70歳
北海道岩内高等学校卒業
1959（昭和34）年 北海道庁入職
行政管理室長、総合企画部長、北海道
教育長等を歴任。
財団法人 北海道子どもの国協会 理
事長
財団法人 北海道体育協会 副会長
など公職多数。

2011年4月、北翔大学は新しい理事長に鎌田昌市氏を迎え、新体制が発足しました。そこで今回は、本学に対する思いのほか、理事長としての重点的取り組みなど、今後の抱負をお聞きしました。

●「建学の精神を根本に、時代を先取る対応を」

同窓会 長く教育界に携わってこられた経験から、本学をどのように見ていらっしゃるのでしょうか。

理事長 少子化を迎え、各大学では学生の募集に奔走しています。そうした時代を背景

しか道はないと思いますが、いかがですか。

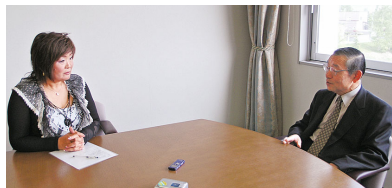
理事長 「自立できる社会人の育成」という建学の精神は、確かに素晴らしい普遍的なものです。さらに、それを実現するために「実学と教養」に重点をおいた授業を行ってきました。今後もこの精神を根本に据え、さらに発展させていきたいと思っています。そこで私は、教職員、保護者、同窓会の皆さまの総力を結集し、知恵を出し合っていかなければならないと思っています。大学の特性として、たとえ、いままさに学部や学科を変えたとしても、その成果が直ちに獲得できるものではありません。企業経営のようなわけにはいかないのです。だからこそ10年先、20年先を見越した、時代を先取る力が切要です。現在の難局を乗り切るには、誰か一人が頑張るのではなく、全学的にその思いを共有して立ち向かわなければならぬと思います。

同窓会 それでは今後、どのようにリーダーシップを発揮して本学を牽引していただけるのでしょうか。

理事長 大学という大きな組織を牽引していくためには、何かを決断し、具体的な構想を膨らませていく過程で、多くの協力者が必要になってきます。そのため、組織の内外からどれだけ多くの理解者、協力者を得られるか。それができるかどうかこそリーダーの資質の一つです。また、教学と経営側との意思の疎通を図ることも、私の大きな役割です。

同窓会 理事長に就任して二ヶ月半。その手応えはありますか。

理事長 私は思ったことは腹に溜め込まず、すぐに口に出してしまふタイプ。気が付いたことはすぐに問題提起して話し合うというスタンスです。方向性や手段が違っていれば、修正すればいいんです。最終的な責任は私が取る覚悟



ただける方が増えていくと信じ期待しています。（笑）

●「世界に目を向け、チャレンジ精神を大切に」

同窓会 同窓会に今後期待することは何ですか。

理事長 同窓会の支援には心より感謝しております。本学を愛する心は、私たちも同窓会の皆様と同じだと思います。今後もお互いに情報を共有し、連携を深めて、全ての学生が在学中も卒業後も誇りに思ってくれる大学づくりを目指していきたいですね。

同窓会 本学は再来年短期大学創立50周年を迎えます。それに向かって最後にメッセージをお願いします。

理事長 グローバリゼーション、つまりこれからは国際化の時代です。それだけに本学の学生には、広い視野を持った国際人になつてほしいと願っています。また、厳しい時代と言われる今だからこそ、逆境を跳ね返すチャレンジ精神を忘れないでほしいですね。これからも同窓会の皆様にご協力いただき、学生諸君を全面的にバックアップしていく方針です。教職員と学生が共に前進することを願っています。



自分の学びをデザインする

ライフデザイン学科がスタート 2012.4～

Hokusho College
Department of Life Design

北翔大学短期大学部 学長 齊藤 徹

【ライフデザイン学科3つのコース】 ※コースは、1年次後期に選択します。

キャリアデザインコース

意識の高い社会人をめざす基礎学力とマナーを養い、ビジネス分野に通用する人材を育成します。

ファッション舞台アートコース

あなたらしい生き方を、実践的にデザイン。ファッション業界、舞台関係、アートや音楽の世界をめざすための知識・技術を身につけます。

健康・こどもスポーツコース

スポーツの実践と理論を基礎から身につけ、幅広い年代の健康づくりを支援し、こどもスポーツに携わる人材を育成します。

短期大学部では来年4月から人間総合学科の名称を改めて、ライフデザイン学科をスタートすることになりました。人間総合学科を設置してから、ちょうど10年目になる平成24年度に、社会のニーズに対応してライフデザイン学科を北海道で初めて打ち出すことになりました。

人生の目標や将来の進路をイメージした学びを、出来るだけシンプルに進められるよう、ユニット履修制を導入しました。数科目をまとめたユニットを組み合わせることで、一人ひとりの将来をデザインできる

ようになっています。ひとつの専門領域を学ぶことも、幅広く学ぶことも今以上にできます。

また、こども学科で行っている長期履修制度も導入します。働きながら学費を捻出するなど、自分のペースでじっくり学べる支援制度です。

今後とも、建学の精神に基づいた教育の理念を達成するため、社会のニーズに対応した高等教育を追究していきたいと思ひます。同窓生の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

同窓生子女・兄弟の

入学金免除!!

同窓会費半額免除

平成22年度より
「同窓生子女入学金免除制度」を実施

昨年度、この制度を利用し、入学してきたのが58名。今年度は39名が申請しています。この制度が浸透し、多くの子女が入学する事は、すぐれたDNAで母校を支えてゆく事になると確信しています。これから大学進学を控えているお子様・お孫様をおもちの方は、選択肢に母校を加えて頂ける事を願っています。

●入学金

北翔大学	310,000円→0円
北翔大学短期大学部	230,000円→0円
編入学	240,000円→0円
	(155,000円)→0円 短大部からの編入の場合
大学院	210,000円→0円

●同窓会費

40,000円→20,000円

'11-'12 OPEN CAMPUS

※開催日程・時間については変更になる場合があります。

当日参加
OK!

開催日程 11:00-15:30

6.18 SAT 終了

「笑顔のために、出会う。」

7.23 SAT, 24 SUN

「笑顔のために、学ぶ。」

9.18 SUN

「笑顔のために、進む。」

2012 3.10 SAT

「笑顔のために、探す。」

地方入試説明会
保護者懇談会

同時開催

9.10 SAT

旭川 釧路 苫小牧 青森

地元で相談
できる

東日本大震災で被災された皆さまに お見舞いを申し上げます。



東日本大震災支援の今 養護教諭部会名簿から支援の輪 定期総会を中止し、費用を支援に

この度の震災にあたり本会は独自の支援をと、被災地の同窓生に直接支援をすることにしました。
幸いにも養護教諭部会名簿が毎年更新されているので有効に活用させてもらいました。
震災直後に支援の用意があることを連絡し回答のあった方々には物資を送ることが出来ました。
衛生材料・下着・タオル・トイレトペーパー・線量計・「えがお」ソフト・「健」イラスト集と多岐に渡り、今後の要望にも対応していきます。
本年度開かれる予定の総会の費用を支援にまわす事が代議員会にて決議され、手厚く予算を確保する事が出来ました。

ご支援に感謝

平成 5 年卒 宮城県石巻市立蛇田小学校 養護教諭 及川僚子

支援品の要望をお聞き入れいただきまして、ありがとうございます。
昨日、学校に線量計が届きました。2台というわがままな願いをしたにもかかわらず、支援をいただけたこと感謝しています。
福島原発の事故は隣県の宮城県でもやはり不安なことです。福島県で戸外の活動は控えています。宮城県においても今後プールの授業はどうするのか、戸外での活動など検討しなければならない事項と思われます。送っていただいた線量計を活用させていただきます。
先日、石巻市の養護教諭が誘いあい、集まりがもたれました。
道短出身の先生方とも久しぶりに会うことができました。被災時それぞれが精一杯の救護活動を行い、そして現在各校が復興に向けて前を向いている状況です。まだまだ元の生活に戻るには時間がかかりそうですが、がんばっていきなりたいと思います。同窓会からの連絡、そして支援とてもうれしかったです。本当にありがとうございました。

被災地の現状

現地の養護教諭に現状報告をしてもらいました。

宮城県岩沼市立岩沼中学校 養護教諭 丹野邦子先生（昭和61年卒）に、県内の同窓生の安否確認にご尽力いただきました。

石巻市立鹿妻^{かづま}小学校

平成5年卒 三浦章江先生

交通量が多いのに学校前等の信号は復旧していないため、児童の登下校の際には職員が交通指導を行っている。
4月21日より学校が再開した。普通教室のみ使用となり特別教室と体育館は避難所と救護所となり、避難されている方は現在260名位で震災直後はピーク時で1800名位だった。

粉じんによる健康被害を予防するために登下校の際や外で活動する際には、マスクを着用するよう保護者、教職員に指導している。
手洗い場の排水は、校舎の半分以上が大丈夫だと確認できたため、手洗いが可能になった。でも仮設トイレの設置場所にはないためウェットティッシュを置いている。
暑くなってきたために黒い大きな蝇が大量に発生するようになった。

宮城県宮城郡七ヶ浜町立
向洋中学校

昭和61年卒 大槻 香先生

現在、勤務先は、少しずつ復興に向け動き始めているところ。
地震が起きてからもうすぐ3か月。
2か月を過ぎたところから、生徒たちが、悩みを訴えてくるようになってきた。
保護者の失業、余震、受験のこと、今まで我慢していたことを、吐き出してくれようになりましな。と、私たちが養護教諭仲間話しています。

北風沙織コーチによる 陸上競技クリニック開催。



全道から参加者が37名あり、熱のこもった指導が展開されました。
参加者は北風コーチの直接指導が受けられるとあつてコーチが発する一言、一言を聞き逃すまいと真剣な眼差しの中進められました。
北風さんは競技者として今年本格的に復活し、織田記念100m3位、400mリレーは第1走者として得意のスタートダッシュで日本新記録に貢献と頼もしい活躍をしています。
怪我に泣いた冬の時間をバネに変えロンドンを目指す北風さんに皆でエールを送りました。



H22年9月19日オープンキャンパス時に短距離を速く走るためのトレーニングと題して、全道の高校生、指導者を対象に本学陸上グラウンドにてクリニックが開催されました。

石巻市立湊小学校

平成元年卒 阿部咲子先生

湊小学校は避難の方が多数いて、移動もむずかしく、体育館も津波被害で使用できず、湊小学校での授業は再開できませんでした。被害の少ない住吉中学校を借りして5/9（月）から教育活動が再開されました。小学生と中学生がほほえましく活動を共にしています。

大崎市立西大崎小学校

平成2年卒 加藤祥代先生

3月末まで、勤務していた学校の駐車場の地割れ等の被害がありました。

服飾美術3期生（Bクラス）で、葉書がまわり被災したクラスメイトを支援する輪が広がりがカンパとガンバレのエールを送りました。

気仙沼市立鹿折^{しかのり}小学校

昭和62年卒 鎌田理佳先生

学校の校舎が被災し、1階の1m40cmぐらいまで浸水し、春休み中、清掃作業

人間福祉の卒業生1名、養護教諭2名の死亡が確認されており。情報をお持ちの方はご連絡おねがいします。

「淑萃会スポーツ・文化活動振興会」

最終年度を迎えます。寄附をお願いします。

充実した環境が社会に役立つ優秀な人材を……との願いを込め、21年度に設立された淑萃会スポーツ・文化活動振興会、3年間の終了年度を迎えました。これまで皆様の想いのこもった寄付金は総額 823,000 円（176 件）になりました。

目標の3千万円には遠いのですが、賛同して送金していただいたお一人お一人の気持ちに感謝の気持ちで一杯です。

この1年で目標額に少しでも近づく事が出来れば幸と思っています。
北洋銀行の振込口座が（会費用）となっていて紛らわしいのですが、会費の徴収ではありません。便宜状ここを使わなくてはいけない事情がありこの様になりました。

あくまでも現役学生生活への寄付に使わせていただきます。
同窓会が母校を支えている事実は社会的にも要求されていることですし、これからの母校の発展には欠かせない活動なのです。
御協力の程、切に希望します。
後輩の夢を先輩が後押しをする。そんな暖かい組織を目指しています。

このバスを街でみかけたら、手を振ろう！！

振興会の事業として、バスのラッピングを手掛けました。学生が、ゼミで、部活で、移動の時使用している、サロンバス・マイクロバスをリニューアルしました。
デザインは本学卒業生のグラフィックデザイナー 佐々木大輔君の作品によるもの。今日、あなたの街でみかけるかもしれません。



事業内容

- スポーツ・文化活動振興支援
1. 指導者人材確保
 2. 環境整備
 3. 旅費（遠征費）の補助

目標額

3千万円＊1口2千円から何口でも可

期 間

3年間 平成21年～平成24年までの3年間

募金方法

同封の振込用紙を使用して下さい。^{※注}

北 洋 銀 行 → 手数料無
ゆうちょ銀行 → 手数料有
＊法人、高額寄付又は領収書の必要な方は事務局にお問い合わせ下さい。

※注 便ぎ上、会費用口座を利用しておりますが、振興会への寄附専用になっております。

「淑萃会スポーツ・文化活動振興会への寄附者名」

1月11日現在

コマヤアツコ、ワカバヤシタカコ、フジイミエコ、スズキカチコ、フルヤカナコ、コマダヨウコ、オオニシリョウ、バンジュンコ、コダマケイコ、マツダキミコ、ハヤセヨウコ、ナカヤマハルカ、ムラヤマシノブ、サトウヨウコ、イズミカズエ、サイトウリュウタ、オクハラユミ、ヨシオナナミ、マツダヨシミ、相内眞子、大友千春、内井佑花、清原真樹子、藤井美恵子、伊藤啓子、本松由美子、岩館礼子、蓬田美奈子、前川綾子、牛丸庸子、長谷川牧子、稲田友子、後藤和雅子、新崎晴香、鎌田裕美、岩見吟子、小室八重子、梅田久江、中谷恭子、近江栄子、斉藤睦子、鎌上真理子、武田敦子、吉田こずえ、菊田晶子、田澤純子、國保いずみ、鈴木由充子、斉藤泰子、滝沢恵子、五嶋美智子、佐藤百合子、小笠原紀子、下間あかね、棚澤かはる、島貫真寿美、寺町貴恵子、長嶋恵子、秋山真理子、宮城翔平、早川るみ、土屋周子、佐藤美紀、長谷川郁子、成田法子、恵彩会、黒田美穂子、都田裕子、佐々木英穂子、加勢川真知子、大西奈穂子

『活躍する同窓生』 みんなで エールを送ろう

大学のバスをデザイン

佐々木大輔
芸術メディア学科（平成17年卒）



芸術メディア学科の2期生で、グラフィックデザイン

ナーの佐々木大輔と申します。グラフィックデザイナー……判りづらいですね。絵描きさんとは違い、どんな表現にしようかと考えて、絵柄を決めたりサイズを決めたり、文字を読みやすくしたりだとか、依頼に応えられるよう考えてつくっています。具体的には商品パッケージや企業ロゴ、ポスター、本なんかを制作しています。25歳の時に札幌ADCという団体で新人賞をいただき、昨年は上海万博記念ポスター展に世界の80人として招待出品させていただきました。他にも、8カ国のポスターコンペティションで入選したりしています。とはいえ、まだまだスタートを切ったばかりで、業界内の諸先輩に追いつけるよう日々精進しています。

お仕事のご依頼、質問等は淑萃会さんにご連絡ください。お気軽にご連絡くださいませ。

「大麻幼稚園新園長」

飯沼美智子

初等教育学科（昭和54年卒）



創立40周年目を迎えた大麻幼稚園は、ま

供達と過ごしてきた日々は、喜びや悲しみを共感できる繋りを学び、自分の人生を学ぶ上で貴重な時間となりました。模倣によって育つ子どもの原点を追求し、保育者としての自分のもとより、人として子供の目の前にいる自分がどうあるべきなのかと向き合いながら、現在は園長として子供達と過ごしています。今後、園の門をくぐってきた子供達と出会えたその日から、翼を広げて飛び立つその日まで、自然と愛と美の環境の中で大人達が手をつなぎ見守り、導いていきたいと思っています。

精神保健福祉士として

佐久間香菜子

生活福祉学科（平成13年卒）



1期生として卒業し、手稲病院でPSW（精神保

健福祉士）として働いて10年目を迎えました。子育てと仕事の両立に迷うこともしばしばですが、周囲に助けられています。在学中に精神保健福祉士の受験資格を取得していなかったため、通信教育を経て受験しました。振り返れば、沢山の失敗と経験をして少しずつ成長させて頂いたように思います。暖かく育てて頂いた環境に感謝です！現在は主任と言う立場になり、育成にまわるには時期尚早ではないかと葛藤し、悩みながら後輩育成や実習生の対応に取り組んでいます。これからも、ソーシャルワーカーとして成長していけるように、日々精進していきたいです。

同窓会室前に展示

木尾美恵子

工芸美術科（昭和45年卒）

OB会多年草にお願いし、定期的に作品を同窓会室前に

展示しております。今回は木尾美恵子さんの作品が展示されています。機会がありましたら、是非ご覧下さい。



望（のぞみ）
2009年 日輝展 文部科学大臣賞
OB会多年草会員

「活躍する同窓生」の情報をお持ちの方は、自薦・他薦を問いませんのでご連絡お待ちしております。

図書館 同窓生コーナー最新情報

先輩の活躍を後輩に紹介するために
出版物情報そして寄贈をお待ちしています



井上美香
昭59年卒
松野真奈美
平12年卒



入園バック製作会

H24年2月末開催予定

積極的に地域との関わりを持ちたいと、入園予定のお母さん達を対象に通園かばんと絵本袋の製作会を開催し今回で5回目が終了しました。

講師は本大学の冨田玲子准教授と大信田信子准教授です。

手作りのかばんで通園する子供たちの喜ぶ姿が目に見えようです。

※対象は第二大麻幼稚園入園予定の保護者です。



同窓会 OB 支援として



H23年 人間総合学科卒
平山友梨香



H23年 大学院卒
宮武祥子

この2名をソチオリンピック出場を目指して支援していきます。

学生表彰受賞者



五十嵐 友

健康プランニング学科
陸上競技100m走

奥塚みなみ

健康プランニング学科
陸上競技100m走

平加有梨奈

スポーツ教育学科
陸上競技走幅跳

剣持 明那

人間総合学科スポーツ科学系
陸上競技400m走

南 隆徳

健康プランニング学科
フリースタイルスキーエアリアル競技

能代谷太希

健康プランニング学科
スキー競技

村田愛里咲

学習コーチング学科
フリースタイルスキーモーグル競技

中村 麗美

スポーツ教育学科
スキー競技

細田将太郎

スポーツ教育学科
スキージャンプ競技

田中 温子

人間総合学科スポーツ科学系
スキージャンプ競技

大和田 司

健康プランニング学科
スケート競技

大和田 真

スポーツ教育学科
スケート競技

中村耕太郎

学習コーチング学科
音楽での交流を通じて子供たちを助ます社会活動

堀 珠花

スポーツ教育学科
女子アイスホッケー



新OB会

女子フットサルチーム
“ソウルメイツ”

今年からOB会の仲間入りをさせていただきました。

平成9年保健体育学科卒業生を中心に結成したチームで、4年前から女子フットサル・ノービスリーグに参戦し活動しています。

なかなか皆で集まれる訳ではありませんが、定期的にある試合は、皆で会える場でもあり楽しさ倍増のフットサルになっています。

メンバーも随時募集していますので、興味のある方は同窓会事務局まで気軽にお問い合わせ下さい。よろしくお願ひ致します。

保健体育科 平成9年卒 代表 木村 むつみ



松野真奈美
Rena Matsuno



井上美香
昭59年卒
松野真奈美
平12年卒

26回多年草展
8/18(木)~23日(火)
道新ギャラリーA室

工芸美術科昭和46年卒
石黒えみ子さんの作品
サイズは
116.7cm×90.9cm



人間福祉学部研修会
11月上旬位研修会開催予定

登録住所等に変更ある方は
人間福祉学部共同研究室に
お知らせ下さい。



●第23回 社会福祉士国家試験	31名
(22年度卒業生)	8名
(過年度卒業生)	23名
●第13回 精神保健福祉士	6名
(22年度卒業生)	2名
(過年度卒業生)	4名
●公立学校教員採用者	43名
(22年度卒業生)	20名
(過年度卒業生)	23名
小学校	13名
中学校	4名
高校	2名
養護教諭	6名
特別支援	18名

●●●●平成23年度代議員会報告●●●●

さる4月2日(土)開催され、下記の審議事項について討議し、承認されました。

〈審議内容〉

- 22年度事業報告及び会計決算報告
 - 23年度事業計画及び会計予算報告
 - 役員改選
 - その他
- 23年度の総会は見送りとし予算は東日本大震災の義援金に当てる。

平成22年度 決算書 & 平成23年度 予算書

一般会計		(単位:円)	
項 目	23年度予算	22年度決算	
収入			
会費収入	24,000,000	25,574,685	
雑収入	0	217,106	
利息	3,000	2,159	
前期繰越収支差額	12,323,796	10,561,811	
収入合計(A)	36,326,796	36,355,761	
支出			
I 大学支援			
大 学	4,000,000	3,177,727	
学 生	0	958,055	
II 事業			
OB・OG会	1,200,000	1,169,694	
研 修	1,000,000	522,565	
機 関 誌	3,000,000	2,142,174	
H・P管理	100,000	85,420	
入会関係	1,000,000	180,860	
支 部	1,500,000	1,119,015	
III 管理			
会 議	300,000	281,924	
総 会	1,000,000	0	
慶 弔	500,000	335,462	
印 刷	300,000	186,009	
通 信	300,000	228,837	
運営・活動	3,600,000	3,108,180	
消耗・雑費	400,000	239,821	
備 品	100,000	18,688	
IV 予備	1,000,000	277,534	
V スポーツ文化振興	10,000,000	10,000,000	
支出合計(B)	29,300,000	24,031,965	
次年度繰越収支差額(A) - (B)	7,026,796	12,323,796	

特別会計		(単位:円)	
項 目	23年度予算	22年度決算	
収入			
利 息	150,000	114,341	
前年度繰越金	60,726,216	60,611,875	
収入合計(A)	60,876,216	60,726,216	
支出			
なし			
2. 募金			
募金残高	71,739		
3. 奨学金特別会計			
項 目	23年度予算	22年度決算	
貸与者返済	4,169,000	4,198,100	
雑 収 入	1,000	16,594	
一般会計より	0	0	
前年度繰越金	17,192,413	16,324,879	
収入合計(A)	21,362,413	20,539,573	
奨学金貸出	3,400,000	3,345,000	
支払手数料	1,920	2,160	
支出合計(B)	3,401,920	3,347,160	
次年度繰越金(A) - (B)	17,960,493	17,192,413	
4. スポーツ・文化振興会			
項 目	23年度予算	22年度決算	
会員より寄付	-	483,000	
一般会計より	10,000,000	10,000,000	
雑 収 入	0	250,000	
利 息	1,000	1,094	
前年度繰越収支差額	14,385,874	9,757,616	
収入合計(A)	24,386,874	20,491,710	
部・サークル活動	2,000,000	1,988,905	
学 外 活 動	1,500,000	1,552,489	
海 外 活 動	1,500,000	1,413,970	
外部コーチ	4,000,000	900,000	
在学生関係	500,000	250,472	
支出合計(B)	9,500,000	6,105,836	
次年度繰越金(A) - (B)	14,886,874	14,385,874	

支部会報告

平成22年度も各地で支部交流会が開催されました。

8月28日
根室支部
「ティッシュで
アート・ランプシェード作り」



10月2日
関東支部
「松野真奈美さんを囲んで
水月ホテル鶴外荘にて食事会」



10月23日
帯広支部
「コルクボードや小箱に
レースやお花をデコレーション」



10月23日
みちのく南支部
「ホテルメトロポリタン仙台にて
食事会」



平成23年度 支部交流会予定

- 8月7日(日) 釧路支部交流会
釧路全日空ホテルにてランチ
- 10月1日(土) 関東支部交流会
銀座「花郷」にてランチ
- 10月8日(土) 根室支部交流会
そば打ち体験と打ち立て試食会

- 10月22日(土) 帯広支部交流会
～料理に合うワインを学ぼう～
- 11月5日(土) みちのく北支部交流会
参加費 無料
※今回に限り震災による負担軽減措置として経費は同窓会が負担
～同窓生の強い絆を再確認！～
岩手の歴史や文化にふれる旅
(ランチ わんこそば)

～皆様のご参加をお待ちしております。～



日本学術振興会

ひらめき☆ときめきサイエンス
～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI

各高校からの参加者と共に、学びを通じて、楽しく、
良い交流の時間を過ごしましょう！

未来博士号授与



保健室の先生(養護教諭)になっちゃおう

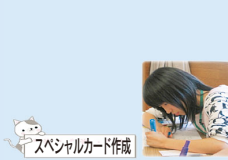
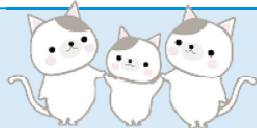
日時

7月23日(土)・7月24日(日)
北翔大学オープンキャンパスと同時開催
1日だけでも2日とも参加してもOKです。昼食無料。
小学生・中学生10:00～受付 10:30～11:30、
中学生・高校生12:30～受付 13:00～14:40

企画代表 人間福祉学部 福祉心理学科
教授 今野 洋子(いまの ようこ)

定員 1日あたり10名

保護者の方も一緒にどうぞ



スペシャルカード作成



バイタル測定



デモンストレーション

お問合せ・お申込先

北翔大学企画部教育研究支援課 千広 敦子(ちひろ あつこ)
TEL.011-387-4158 FAX.011-387-1542 E-mail researchi@hokusho-u.ac.jp
事前に申込が必要です。申し込み締め切りは、7月22日(金)です。

カード入れプレゼント！

還暦を迎えられた会員の皆様にささやかですが、カード入れをプレゼントいたします。
今年還暦を迎える、または、もう還暦は少し過ぎちゃった方も同窓会室まで一報下されば
お送りいたします。

クラス会幹事の皆さん、クラス会開催の時には是非お知らせ下さい。お待ちしております。



合縁奇縁

3・11未曾有の大震災は日本という国に与えられた試練かもしれません。私達一人一人が日本人であることを問われているとも思えます。現在、青森・岩手・宮城・福島県の4県に同窓生は1,323人住んでいます。直後は身動きが取れずにいたところに1通の電話「会長、無事です。生きてます。」みちのく南支部役員を長年やってくれている武藤宏江さんでした。このような事態を想定して支部ネットワーク作りをしていた訳ではないのですが、支部という組織があつて本当に良かったと思える瞬間でした。ネットワークと言えども一つ養護教諭部会名簿。毎年大変な作業で役員さん達が更新をしてくれ、管理されているおかげで有効利用することができました。本当にありがとうございます。被災した仲間と連絡をとれる心強さは、同窓のつながりを一層深くするものであり、何にも代えられない絆となりました。それにしても道短卒は、たくましく、頼もしいと実感しています。でも皆さん、ここが頑張りどころではありませんが、頑張り過ぎないようにお願いします。何かを必要としている物、何かを子供達のためにあげたい事がありましたら遠慮をしないで一報下さい。何とかお役に立ちたいと思っていますから。役員一同首を長くして連絡を待っています。絆と言えども一つ、スポーツ・文化活動振興会。私達先輩が後輩を育てる手助けを願う寄付活動です。賛同してくれる数も金額も目標を大幅に下回っています。何故、人の子のために私が...その気持ちもわかります。東京の六大学の中に位置する某有名大学同窓会では地方から上京して生活する後輩のために20万円の支度金を支援しているそうです。淑華会もそのようになれば...夢ですか。...

会長 伊藤みどり

第2回 北翔大学
現職教員研修会開催のお知らせ

check!

昨年からスタートしました本学卒業生を対象とした現職教員の研修会を、本年度も下記のとおり開催いたします。分科会では、昨年も熱心な討論が行われ、時間不足との声も！！また、研修会終了後には親睦会を実施します。同窓生としての交流を深め、楽しいひとときを過ごしていただければと思っています。ご多忙のこととは存じますが、多数の参加をお待ちしています。



記

- 開催日時 平成23年8月6日(土) 13:00受付開始(722教室前)
(日程) 13:20～ 全体会 講演『現代教育の課題に迫る』(仮題)(722教室)
講師 植木 則子(昭和47年 初等教育学科卒)
錦見由見子(昭和54年 保健体育科卒)
石津 美紀(平成5年 保健体育科卒)
14:50～ 学校種別分科会(721、724、731、732教室)
①小・中・高等学校部会 ②特別支援部会
③養護教諭部会 ④幼稚園教諭・保育士部会
17:00～ 親睦会(PAL5階)*会費無料
- 対象者 北海道女子短期大学(部)、北海道女子大学、(北海道)浅井学園大学、(北海道)浅井学園大学短期大学部、北翔大学、北翔大学短期大学部、(北海道)浅井学園大学大学院、北翔大学大学院の卒業生で現職教員(含む期限付教員)
- 申込方法 メールアドレス kyosen@hokusho-u.ac.jp に下記内容を記入の上、送信してください。
件名→現職教員研修会参加申込
本文→氏 名:○○ ○○(旧姓:○○)
出身学科・卒業年:○○○○○学科○○○○○コース、
平成(昭和)○○年卒
連絡先:自宅の郵便番号、住所、
電話番号(携帯電話等)
勤務校・担当教科等:○○○○○○○学校、○○○
親睦会について:参加する 又は 参加しない
- 申込締切 平成23年7月20日(水)

お問い合わせ先:北翔大学 教職センター

☎011(387)4082 E-mail kyosen@hokusho-u.ac.jp